

からだの保育

東京市 東郷幼稚園 須子 啓子

国民學校と併設の私の幼稚園には、コンクリートの庭があるが六月ともなれば、反射光線が、そろ／＼眼を刺戟しはじめ、あまり快くない。幸ひ直ぐ地續きが市の公園で、鈴かけの葉が、毎日驚く程の速力で、青空にひろがつてゐる。こゝの廣い砂場に、子供等を連れて行く。訪う人も多くない公園で、たまにゐれば、顔見知りの近所の坊や達なので、砂遊びの道具など、「ごうぞ」と云ふことで、仲よく協定成立。

「はだしになりませう」とおふれを出す。サンダルをつゝかけた足に、砂のかゝるうるささも、こはれかけたボール紙製の靴のすき間から砂のはいる心地悪さも、こゝで解消とばかりに、元氣よくぬぎだす子供等。砂場の外廻りに、きれいに並んだ靴や下駄、サンダルに草履。この頃の子供は、しつかりした履物に恵まれないうが、道路で遊んでゐるのをみても、すぐにはだしになつて、又そのまゝの足で履物をつけてゐる。幼稚園の子供等も、はだしの足と云ふものを、ちつとも氣にしない。氣にしないのはいゝとして、足をきれいにすることの氣持よき、を知らなくては困る。遊びの後の足洗ひ、それを上手にさせ様と、この砂場ではだし遊びの後は、氣をつけて、よく洗はせることにした。道具の片附け

が濟むと順に並んでまづ手を洗ふ。次に足洗ひ、水の冷たさは初め之感觸とは又異つて快い。右足と左足とをよくこすり合せて、「さあ後の方もよくこすり合せて」と。四枚の雑巾の上を順々に渡つて行くくと大分水もきれて、もう一枚の布で上の方をふくだけで、すっかりきれいになる。

こゝで足を洗ふ習慣のことを書き添へて置ませう。ひるま、はだしになつた時は勿論ですが夜寝る前にお風呂のない日は必ず足を洗つてゐること、この習慣を、大人も子供もみんなつきたいと思ふ。齒をみがくことゝ同様に足を洗つてゐることを習慣にしたい。敷布がよこれることも少くして石鹼の節約にもなります。とお母様方にもお話をしつてせひ實行して頂くことにした。

快晴の日は終日公園保育を、青空保育をしたい。園専用庭を持たず、そう度々郊外へ連れ出すわけにも行かない子供らに、このみざりに充ちた小公園は、なんとよい保育の場であらう。机も持つて行き度くなるが、それでは公園をあまりに、私有物扱ひすることになるからよして置く。屋根のある保育室はこの六月中は防空訓練の際の待避所と雨の日とで利用する位のものにしつたい。身體検査も濟んだ。結果が統計だけ、記録だけの検査になるの

ではつまらない。これこそ保育の實際に問題を興へ答へを興へてくれる大切なものでなくてはならない。眼の悪い子供、アテノイド、鼻カタル、などは、お家の方での治療におまかせするとして、胸廓異常、脊柱不正などは幼稚園での生活で大いに矯正する様に注意すること。注意することによつて随分効果も上ることと思ふ。○ちやんは「圓背」だと云ふこともつとつかり記憶して置いて鐵棒での、ブラ下り競争や「ナベナベソーコヌケ」の遊びの様なものをつとめてさせる様になくしてはならない。扁平足は誰と誰と誰と三人、砂場ではだしになつた時、あの丸太棒を幾度も渡らすこと等等。

身體検査に續いて今日は、寄生蟲検査と、マントー反應検査とをする。寄生蟲検査は、東京市衛生試験所に依頼して、なべく一人残らず見て頂く様にする。

マントー氏反應の結果は、多勢の子供らの健康に或る一つの、科學的なめやすと云ふものを持つてた思ひでとても有り難い。陽性の子供は特に留意して、麻疹等の傳染病に感染せぬ様、身體的に無理な保育をすることのない様、鍛練的なことに走り勝ちな昨今はことに右の検査は子供らのからだに對するものさしを興へてくれる様に思へる。

昨年の検査では、私の園での陽性率は七・七%だった。農村の母性と乳幼児に記載の秋田縣下農村の陽性率を見るとある村では國民學校の一年生の陽性率は零であり他の一村は〇・七%であつて、非常に少ないが、少し都市と接觸の多い農村になると、六・二を示し秋田市の國民學校一年生に於ては一八・五%と出てる。勿論

一年生と幼稚園兒との區別は相當に大きいものであるから正しい比較は出来ないが、都市としては、さして高率とは云へないと思はれる。陽性の幼兒は、この後レントゲン寫眞の撮影もあるから、こゝで私達は再び子供らの身體について知ることが出来る。

乾布摩擦 晴れた無風の日を選んで始める。

「學校のお兄さんお姉さんは、字をおならひしたり、算數を考へたり、色々勉強なさいませぬ。幼稚園にも色々な勉強がありますよ。手洗ひ勉強、お片づけ勉強、それから、今日は、乾布摩擦勉強。」

子供らは「乾布摩擦」と口の中で繰り返しながら喜ぶ。

窓をしめる。(最初は無風でも)手拭を右手にしっかりと持つて兩足をひろげて立つ。

おしやべりをせずに口をギユツと結んでする約束をする。こんな時、お部屋の正面に掲げてある東郷元帥のお寫眞に注意させて、「東郷元帥の様なお口をしませう」と云ふことにしてゐる。

手拭は幼稚園にあづかつてある防空ツキンの中に用意してあるものを利用する。カンブマサツノウタに合せて、最初はあまり高い要求をせず愉快に楽しんでやれる様に。子供の力では、なかく皮膚が赤味を帯びる迄など、云ふわけには行かないが、背中などは、友達とこすりつことをさせると相當力を入れて出来るし、馴れれば相當上手に力も這入る様になる。技巧よりも根氣である。

乾布摩擦の歌だけではなしに、たまには何かリズムの合ふ輕快なレコードをかけてさせる。こする場所と順序は勿論一定してあり上肢、頸、胸、腹、背、下肢、を上から下、下から上とよくこ

する。最初は五分位に。

手拭は一週に一度洗濯する。大してよこれないから子供自身にボチャ／＼させて干すだけでよい。夏になつたら冷水摩擦をし秋なにつても續けられる様に、注意と、根氣とを持ち續けたい。

六月も半近くなればそろ／＼梅雨に入る。雨の日の打續くなど、幼稚園の保母にとつて「いとものうきこと」の第一の様に云はれてゐるけれど、毎日陽やけして外遊びの相手をしてゐるた身に、雨の日は又、變つたよさがある。

落ち付いて、子供らと話し合つたり、じつくりと、誘導保育の特技製作をしたり。しかしその間も子供の活動性に體育的な導きを與へることを忘れない様に考へよう。

部屋中ゴザを敷いて、ころがり競争をしたり、先生の持つた鍛錬棒でくりつ、くりつと廻つたり、綱引きをしたり、ドタバタ駆け廻ることなしに子供らの活動力を満足させる遊びをさせよう。

つゆ時のむし暑さは食物の腐敗を早めるから子供らのお辨當もよく氣をつけて「あやしい」と思はれるものなどを子供がいやく／＼食べてしまふ様なことの無い様に氣を配らなくてはならない。

梅雨時の衛生や、手洗ひ、足洗ひ、蟲菌の豫防はみがき、こんな紙芝居をこしらへて見せる。紙芝居のあの魅力と云ふものをこゝんな現實面にもつと使い度いものだと考へてゐる。體の錶の面白い紙芝居でも考へて、雨の一日子供らを樂しませよう。

皆様へ

戸倉ハル

皆様御機嫌いかがでいらつしやいますか、私は、今年も亦皆様にお目にかゝれますことを楽しんで居りました。

すでに御承知のやうに、先般國民學校體鍊科教授要項が改正になりました、その傳達のために、文部省の講習が各地で開催されて居りますが、今回は北海道で開かれることになり、それがたまたま本會の講習期日と重なつてしまひました。

長い間のおなじみの皆様には、さうかしてお目にかゝりたいと、いろいろ考へてみましたが何事も致し方なく、さうさう本年はお目もじの機を逸してしまひました。

しかし、私ども當校幼児遊戯研究部の一年かけての研究は、部員によつて滞りなく發表いたすつもりでございます。一同張切つて、皆様をお待ちいたして居ります。

唯、私さいたしましては、年一回のこの楽しい集ひが、このやうな事情にたちいたりしましたことを、かへすがへすも残念に思ひます。

お暑い折柄、皆様の御健在をはるかに祈ります。東に西にそれぞれの持場々々で、大いに御奮闘下さい。